

道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成30年12月17日(第25号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 部活動秋の大会の結果続報 ◆◆

・バドミントン逗葉地区大会の結果

女子ダブルス (2B) (2C) ベスト4

・バレーボール新人研修県大会の結果

1回戦 南郷中 2:0 田奈中 2回戦 南郷中 2:0 南生田中
3回戦 南郷中 0:2 城北中 に敗退 県ベスト32

・サッカー冬の県総体予選

予選リーグ 南郷中 2:1 南下浦中 南郷中 0:1 三崎中 (2位通過)
決勝リーグ 南郷中 0:1 葉山中に敗退 県大会進出を逃す

・バスケットボール新人大会横須賀ブロック予選

女子 南郷中 38:54 常葉中 に敗退
男子 南郷中 59:48 大津中 南郷中 58:54 初声中
南郷中 52:64 長沢中 に敗退この時点でベスト8
県大会(上位5チーム)をかけた代表決定戦にて
南郷中 45:40 長井中 南郷中 45:47 浦賀中 に敗退第6位決定

◆◆ 少しの雨を吹き飛ばす熱気。南郷中学校小学生訪問が開催されました。 ◆◆

新生徒会役員さんの最初の大仕事となる。小学生訪問が、11日(火)に行われました。本校を訪れたのは、長柄小学校の79名と、葉山小学校の31名と引率の先生方です。

生徒会の説明を聞いたあとは、グループに分かれて部活動見学です。来年4月には本格的な部活動勧誘がありますが、気合いを入れて準備している部活も多く、各会場熱気にあふれていました。一時小雨が降りかけましたが、最後まで楽しんでくれたようです。私学等に進学する児童もいるのは確かですが、来年度は少なくとも90名以上の入学がありそうです。入学される皆さんが不安を吹き飛ばして楽しい気持ちになっていてくれれば何よりです。





重点目標3（柱3） 「地域を愛し、地域から愛される学校」

【学校が示した中間報告改善案】

学校便りでも表明したが、「チーム南郷」という表現が、まだ共通理解されていないようである。特に、学年で動く傾向の強い中学校において、「学校一丸になって取り組む」という方針を掲げることの難しさは痛感する。しかし、学校が一丸となる方針のもと、教育課程や生徒指導が展開されることは大変重要であることは間違えない。今の南郷中には高いハードルに見えても、そこに向かって教職員全体の意識を高めることを続けていく必要があると考える。

【学校関係者評価（各委員の主たる発言内容）】

- ・職員アンケート問23は、校長が代わって変化してきたなという部分が伝わっているように感じる。しかし、問28までは動いていない。これからの1年間の変化を、どうやって変わっていくか今様子を見ているように感じる。これからの1年間何をするか、学力をつけて将来に育てる意識を持ちながら、具体的手法を見せていく必要がある。
- ・「チーム南郷」も同じように見ているのだと思う。「一丸」ではなくて、「先生同士が何度も話し合える環境にしていきます」といった感じなら良いのかと思った。
- ・目的が一緒だったら、いろいろな考えはあった方がいい部分がある。そういう意味では学年は機能していると思う。学年のやり方の差は感じる部分はあっても、見ている方向性（ベクトル）は揃っていると感じている。（教頭）
- ・例えば、文化祭の曲紹介場面、全学年の統一感を望む声もあるようだが、私は各学年が納得したやり方（演出）でやるのが良いと思う。生徒が過程の中で納得していることが重要。「チーム南郷」がそこまで統一する足かせにならないでほしいと思う。
- ・「チーム南郷」は校長先生の大事なメッセージなので、これは絶対にぶれないで、ただもう少し理解してもらおう方向性を模索しながら、続けてほしいと願う。

重点目標4（柱4） 「いじめ防止に向けた対策」

【学校が示した中間報告改善案】

職員問29・生徒問10・保護者問24の各アンケートに共通する課題があることを取りあげる。生徒アンケートを見ると、D:10人 E:10人いることが分かる。保護者でも、D:7人 E:3人いることがわかる。ところが、次の設問で、再発防止に努めるような事案がないFと答える人が、教職員で8名、生徒で139名、保護者で105名いることに注目したい。その感覚は責められるものではないし、本当にいじめはない状況しか身の回りに起こっていないことを示しているのだと考える。だからこそ、そう答える状況は「良い状況」報告として、評価もされる状態ともいえる。怖いのは、いじめを訴える本人の気持ちや状況がほとんどの人には写らないという事実である。教師で言えば、「アンテナが低すぎて見つけ切れていない」と言うことになってしまうのであろうか。いじめについては、「理想に見える状況が、怖い状況」なのかもしれない。D、Eで苦しんでいる子の声をきちんとキャッチし、適切に支援できる学校環境を創らねばならないと考える。

【学校関係者評価（各委員の主たる発言内容）】



- ・DEの10人10人に応えていくには、それこそSCの出番でないかなと感じる。
- ・現在の2年生が1年生の時、先生の目が発見したいじめ案件があった。先生の目（アンテナの高さ）は大変重要だなと感じている。現場を見たわけではないが、状況から感じた違和感を鍵にいじめに気づいてくださった。やった子全員の特定にはいたらなかったとしても、学年で問題を捉えてくれたのは良かったと思う。
- ・教師の感性は大切。8人の教師がいじめがないとするのは気になるが、気づいた教師にDEがないのは、安心した。先生のアンテナは高く持ってほしい。
- ・生徒同士がいじめへの気づきも大切だと思う。その情報を上手く処理できる先生の力量も期待したい。
- ・生徒会の取組が機能している部分があるようだ。
- ・今学校に通えていない子の数は？←7名ほど（各クラス1名程度の割合）、やしの実教室利用者が増えている。（校長回答）
- ・教師同士のハラスメントや、悪口もあるような場面をなくさないといけないと思う。